

# 「5年後の木津川市のまちづくり」 提言書

平成26年12月

木津川市プロデュースプロジェクト

## 目次

### ◆はじめに

同志社ローム記念館プロジェクト

「プロデューサー養成プロジェクト@木津川市」

メンバーが考える5年後の木津川市について（意見）

### ◆各校からの提案

#### ◇木津中学校

「きづな旅」

～外国の方に木津川市をいっぱい知ってもらおうツアーの開催～

#### ◇木津第二中学校

「きづのもり」

～木津川市を京阪奈の観光の拠点に～

#### ◇木津南中学校

「人と人をつなぐ Bamboo Park」

～新・旧市街地 世代間交流の場を提供する企画～

#### ◇泉川中学校

「みんなでつくる木津川MAP 教えて！！あなたの木津川市」

～木津川市活性化のための市民参加型MAPを企画～

#### ◇山城中学校

「木津川キャラバン」

～木津川の良さを全国各地の人々に知ってもらうための  
キャラバン企画～

#### ◇各校発表概要

### ◆木津川市プロデュースプロジェクトメンバー一覧

## ◆はじめに

### 同志社ローム記念館プロジェクト 「プロデューサー養成プロジェクト@木津川市」 学生メンバーが考える5年後の木津川市について（意見）

私たちは、今回の活動を通して、木津川市が全国に誇れる歴史、豊かな自然をもっていること、関西文化学術研究都市の中核であることなどを知りました。歴史・自然・学術を備えた木津川市の魅力は他の市区町村にも劣らないものです。しかし、観光客を呼び寄せる余地はまだあり、市民が木津川市の魅力を十分に認知していない現状があります。また、木津川市はまだ誕生して間もない市であること、市外からの転入者が増えているといった背景もあり、市民の「地元」に対する意識が「木津川市全体」にまで達しておらず、地区を超えた市民同士の関係も希薄です。私たちの木津川市についての問題意識は、市の魅力の認識および発信不足、新旧住民同士の関係の希薄さの二点にあります。

各中学校チームでは、学校単位でそれぞれ将来の木津川市の姿を考えましたが、市がもつ既存の資源を工夫して活用し、市内外における市の魅力の認知を高めること、市民の交流の機会を増加させることを基本的な目標としている点で一致しています。「きづな旅」「きづのもり」「木津川キャラバン」など観光客増加をねらいとする提言では、観光資源の見せ方の工夫、観光に必要とされる宿泊施設の整備、市外でのアピール活動などが提案されています。これらの活動の主眼は市外に向けて木津川市の魅力を伝えることですが、活動主体が行政や企業ではなく市民であることも要点です。市外に向けて木津川市を発信するためには、発信する市民自身が木津川市を深く知っている必要があるため、市民が木津川市の魅力を再発見する契機にもなります。観光アピールを直接市民が担うことによって、市内外双方に対しての効果が期待できると考えられます。

市民の手に活動の工程を委ねるという点では、市民の交流の活性化を主眼に置いた「bamboo park」と「みんなで作る木津川 MAP」が共通しています。前者は交流の場を完成させた状態で市民に開放するのではなく、その場を完成させる企図に沿って市民が協働するところから始まります。後者に関しては完成した地図ではなく、地図を市民が恒常的に完成させようと参加し続けるところが重要な点です。すなわち、まちづくりを考える上では、成果物の必要性もさることながら、市民の協働の場が身近にあり、まちづくり・まちおこしの取組に市民が積極的に参画する機会として持続的に機能させることが必要です。

私たちは、本プロジェクトの成果として、中学生・大学生の視点から、5つの企画を提案します。どの企画にも共通して言えることは、その取組に賛同した人たちが集まり、事業を進めるための実行組織が必要であるということです。また、そこに集まる人たちは、木津川市への関心が高い人だけでなく、関心が低い人こそ歓迎されます。まちづくりの結果だけでなく、過程において市民の連帯が強化されることが要点の一つなのです。市が目指す「まちづくりへの参画と協働の創造」が一層推し進められ、市民によるプロデュースが活発となり、さらに多くの市民が参画できるような仕組みづくりが進むことを期待します。

# 木津中学校チーム企画

テーマ

## きづな旅

～外国の方に木津川市をいっぱい知ってもらおうツアーの開催～

### どうしてこの企画にしたのか

1. 現在、木津川市には**外国人観光客**があまり訪れていない
2. 木津川市は**自然・歴史・最先端技術が集まる魅力的な市**である
3. 2020年の**東京オリンピック開催**で日本に注目が集まる

インタビュー調査の結果、外国の方は日本の自然・お寺・歴史・テクノロジーに魅力を感じていることが分かりました！



### ツアーモデルプラン

昼食はここでバーベキュー！  
展望台からは木津川市の豊かな自然が一望できる！

京都・大阪・奈良に観光に来た外国の方にぶらりと木津川市に立ち寄ってもらおう！

1日目

JR 木津駅

山城町 森林公園

山城郷土 資料館

紙芝居

恭仁京

恭仁小学校

ホームステイ



木津川市内の公園で  
手作り紙芝居を  
上演中！

歴史ある  
木造校舎！

地元の人の  
“絆”を  
深めよう



最後は記念撮影！  
木津川市を  
思い出のまちに

2日目

海住山寺

国宝

岩船寺

浄瑠璃寺

国宝

昼食

きつづ光科学 館ふおとん

福寿園CHA 遊学パーク

JR 木津駅

木津川市は  
京都府で2番目に  
国宝が多いまち！

お茶摘や茶道を  
体験！



# 木津中学校チームの提言

私たちは「5年後の木津川市」  
について以下のように提言します。

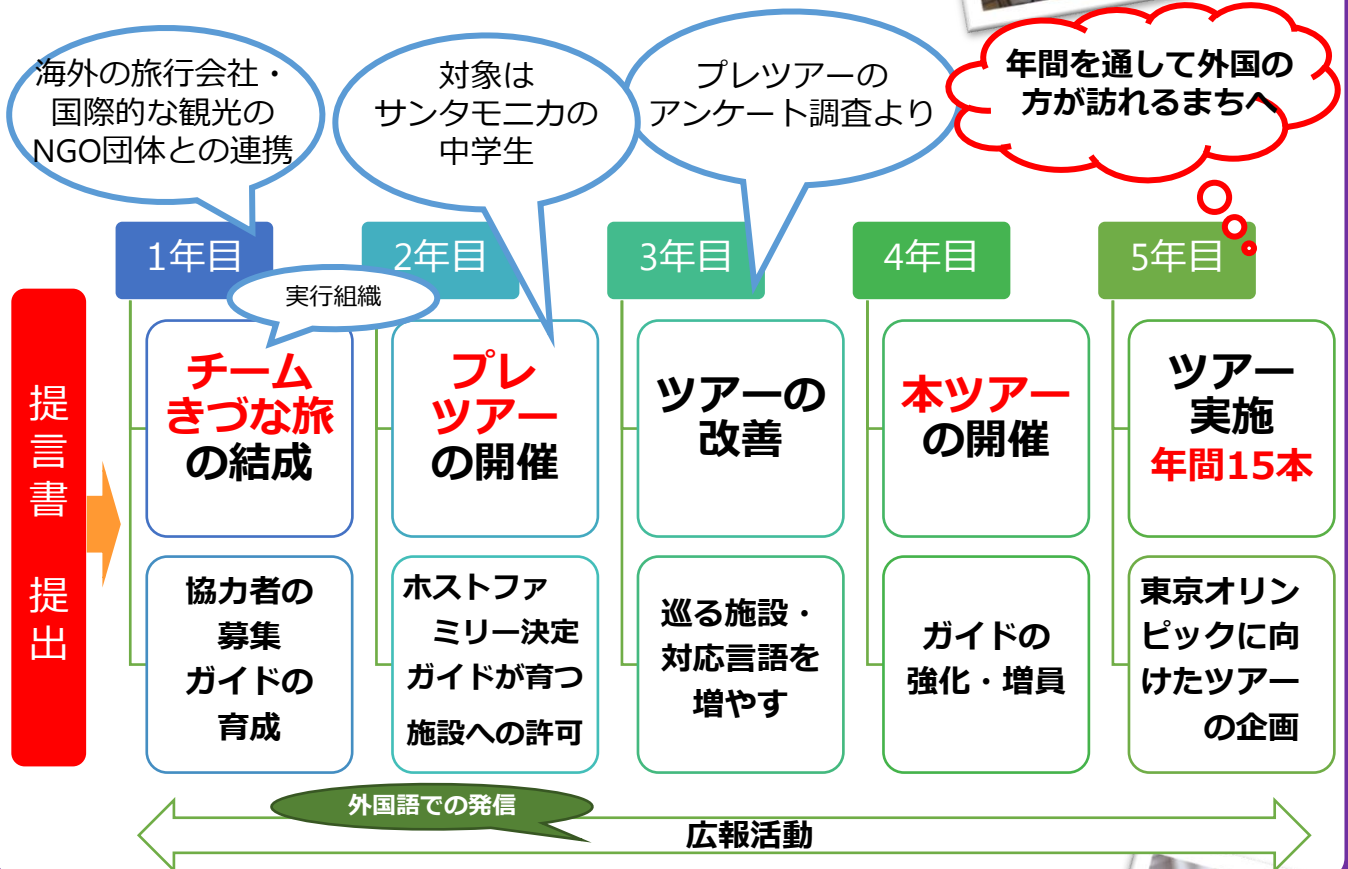
## 外国の方に木津川市をいっぱい知ってもらおうツアー を開催する企画「きづな旅」を提言します

「きづな旅」は2020年の東京オリンピックに先立ち、  
自然・歴史・最先端技術開発など、さまざまな魅力を持つ木津川市へ  
海外から多くのお客様を迎えるためのツアーを開催し、  
木津川市の国際化と有名化を目指す企画です。

### 目的

世界中の人に木津川市の魅力を知ってもらう

### 「きづな旅」実現までのアクションプラン



### 効果・影響

多くの外国の方が訪れるまちになり、世界的に有名になる



# 木津第二中学校チーム企画

テーマ

## きづのもり

木津川市を京阪奈の観光の拠点に

内容



農業体験  
(柿狩り、タケノコ堀り、茶摘み)

内容①  
既存の施設・イベントをより充実させる

- ・ 壁紙・織物体験教室
- ・ 桜・紫陽花・紅葉観賞ツアー など

内容②  
案内所をつくる

- ・ 木津川市のMAP
- ・ 当日のイベント情報
- ・ パンフレット・チラシ  
などが設置してある



茶問屋ストリートや  
加茂舟屋商店街ひなまつりでの浴衣貸出

案内所  
(木津  
駅)

自転車貸出・コミュニティバス  
で施設・イベント宿泊施設に行ける



内容③  
茶問屋ストリート周辺の改築  
(宿泊施設をつくる)

## どうしてこの企画にしたのか

- 1.京阪奈(京都・大阪・奈良)の中心地点である(図1参照)  
→近畿地方の主要都市へのアクセスの拠点となれる可能性がある
- 2.歴史が古く、自然豊かである  
→観光資源に恵まれ、既存の施設・イベントをより充実できる
- 3.木津川市には宿泊施設がほとんど無い  
→宿泊施設をつくることで、観光客が立ち寄りやすくなる

京阪奈への  
アクセスが良い!

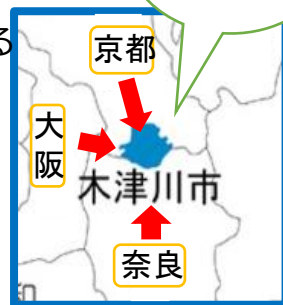


図1 中心地木津川市

目的

木津川市に観光客を呼び込むために  
木津川市を京阪奈の観光の拠点にする

→長期的には京阪奈全体の観光客の増加  
と木津川市の観光客の増加

効果・影響

- ①京阪奈の観光の拠点となり、  
木津川市に立ち寄る観光客が増加する
- ②「きづのもり」の運営を通して、  
市民同士の地域交流が活発になる

# 木津第二中学校チームの提言

私たちは「5年後の木津川市」  
について以下のように提言します。

## 木津川市を京阪奈をつなぐ拠点にする「きづのもり」

宿泊施設の整備をはじめ、古くからのまちなみ再生により**既存の施設やイベントをより充実**させると同時に、案内所（木津駅）から市内各所への**アクセスもスムーズ**にし、観光客がたくさん訪れる木津川市を目指すまちづくりの企画です。

### 「きづのもり」実現までのアクションプラン



### 「きづのもり」の長期的な効果・影響

- ①京阪奈全体の観光客の増加 ⇒ **木津川市の観光客の増加**へ
- ②茶問屋ストリートなどの**空き家再生**に結びつく波及効果



# 木津南中学校チーム企画



テーマ **人と人をつなぐ Bamboo Park**  
～新・旧市街地世代間交流の場を提供する企画～



## 内容

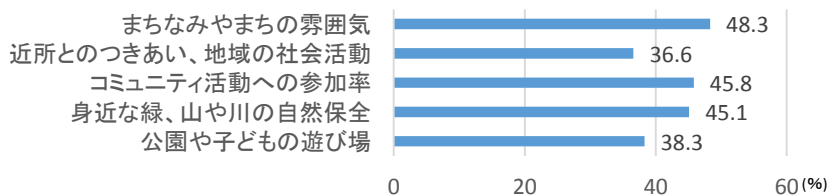
- ・放置竹林を活用した自然あふれる公園
- ・市民で協力して管理していく公園
- ・市民が気軽に集まれる施設がある公園 (竹細工の体験教室・食堂・特産品売り場)
- ・珍しい竹の遊具であふれている公園 (すべり台・シーソー・ブランコなど)
- ・木津川市の市民や企業が主催するイベントが盛りだくさんの公園 (流しそめん・灯ろう祭り・「Thank you」祭りなど)



## どうしてこの企画にしたのか

- ①新興住宅地が次々と誕生して、市外から木津川市に引っ越してくる人が多いため、昔から住んでいる人と新しく移り住んできた人との交流がまだ浅い
- ②木津川市には放置竹林が多く存在している

### まちづくりに関する満足度



木津川市の暮らしやすさに関する満足度調査(2013年)



木津川市内の竹林の様子

## 目的

- ①木津川市民が交流ができる場をつくる
- ②放置竹林を減らす

## 効果・影響

- ①旧市街地の人と新しい地域の人との世代間の交流が増え木津川市が活性化する
- ②環境の保全
- ③市への愛着がわく



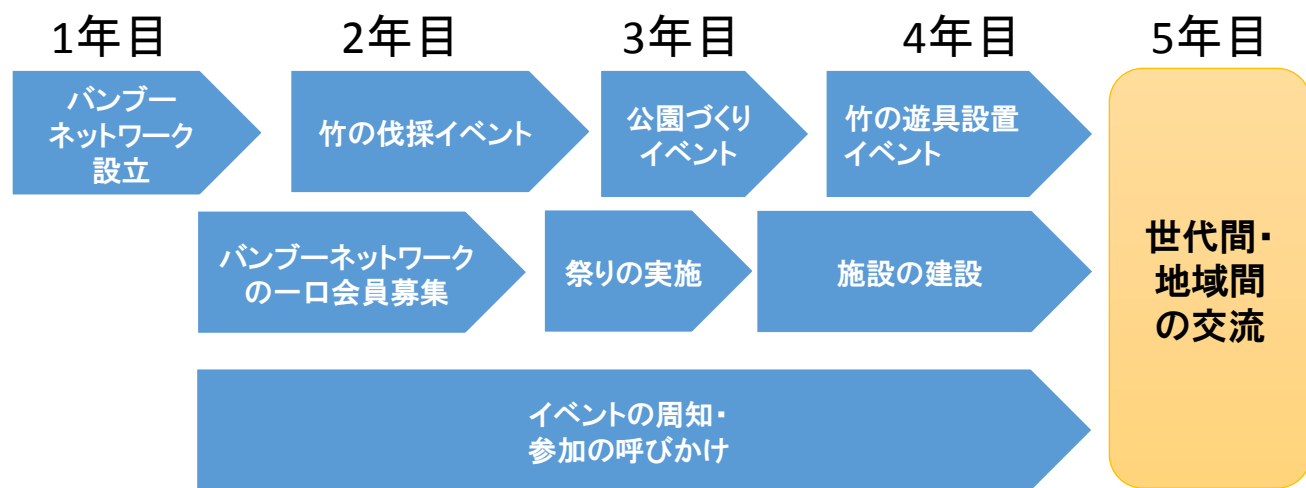
# 木津南中学校チームの提言

私たちは「5年後の木津川市」

について以下のように提言します。

市民自らが中心となり、竹の良さを活かした公園という交流の拠点をつくり上げ、その過程で市民同士の交流を活性化させる企画「**Bamboo Park**」を提案します

## [アクションプラン]



1年目：バンブーネットワークを結成し、イベント実行団体や公園を管理する団体を結成するように他の市民に働きかけます。また施設建設に向け、一口会員制度を使用して、資金を集めます。

2年目：放置竹林問題について考えている団体と協力して市民や中学生が竹林伐採を行うイベントにして交流を図ります。

3年目：公園の設計図を考えるワークショップやコンペを実施します。子どもたちと公園について考えるイベントや市の大人と協力してお祭りを実施し、市民がこの場所に集まるきっかけづくりをします。

4年目：住民と建設会社が協力して遊具を1日で設置し公園をつくるイベントを行います。その後、広場を整備したり、交流できる施設の建設を開始します。

5年目：このように公園づくりを行う過程でさまざまなイベントを実施し、世代間・地域間の交流を実現します。





## テーマ

# みんなでつくる木津川MAP

～教えて！！あなたの木津川市～  
木津川市活性化のための市民参加型マップを企画

## 着眼点

- ・私たち木津川市民は木津川市のことをあまり知らない
- ・既存のマップには詳細なご当地情報が載っていない

本当に市民は  
木津川市を知らない??  
中学校の文化発表会、  
地元スーパーマーケット  
でのアンケート調査



## 目的

- ・マップの作成・利用を通して地元愛を育む

## 効果・影響

木津川市について考えたり、  
新たな一面を知る

市民がまちのことをさらに好きになる  
暮らしが良くなっていく



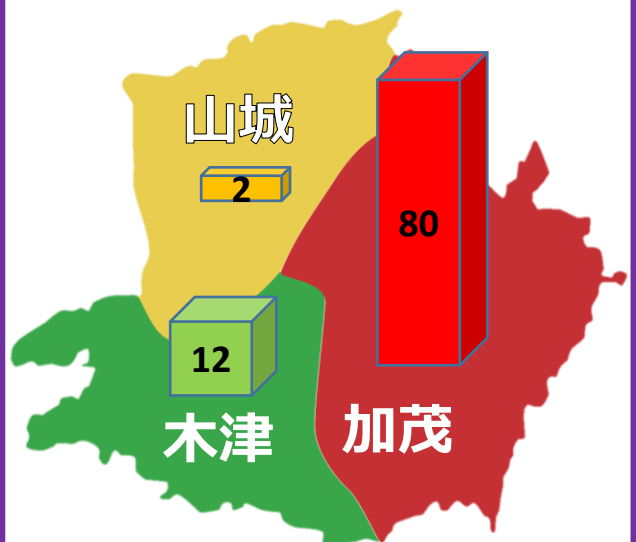
## マップ内容

- ・マップの情報は、  
葉書やFAXなどのアナログでの投稿、  
インターネットへの直接の投稿ができる
- ・木津川市民が知っている木津川市の  
情報をまとめることで今までにない新しい  
マップを作り出す（順次更新）  
(例)蛍マップ、木津川市百景マップ、  
夏の少年マップ、サイクリングマップ、  
子育ておまかせマップ、散歩マップ  
公共トイレマップ...etc
- ・紙マップの配布方法  
(例)ポケットティッシュと一緒に  
市報と一緒に  
学校や公民館での配布
- ・情報の検索は キーワードの入力や  
今の気分、時間帯などの様々な条件を  
選択し、情報を絞れる形を考えている



## アンケート調査結果

11月15日・加茂駅近くの「サンフレッシュ」  
(地元スーパーマーケット)  
対象：買い物に来たお客さん(木津川市民)  
結果：加茂周辺ばかりにおすすめスポット  
がかたよってしまった  
→ほかの地域のことを知らない？



アンケート結果：おすすめスポット数

## 泉川中学校チームの提言

私たちは「5年後の木津川市」

について以下のように提言します。

木津川市民がそれぞれの視点でマップを作り、使うことで、木津川市の良さに改めて気づくことができる企画「みんなでつくる木津川MAP」を提案します。

市民はマップを作ることで、市のことをじっくり考え、市の良さを改めて実感できます。また、マップを使うことで、自分の知らなかった市の一面に気付くことができます。

マップを通して、市民が市の良さを再認識し、地元愛を育む企画です。

## 「みんなで作るMAP」実現までのアクションプラン

市民を募集！

提言書提出

情報収集と同時に！

はがきやFAX、市報やウェブを用いて！

ランキング機能など追加





## 山城中学校チーム企画

テーマ

# 木津川キャラバン

～木津川市の良さを全国各地の人々に知ってもらうためのキャラバン企画～

内容

### 日本各地を巡ります

### 木津川キャラバン

### 次はあなたの街で会いましょう

- ◆木津川市を印象付けるミュージカル！  
幅広い年齢の方が楽しめるモノに。  
木津川市の歴史や「蟹の恩返し」等昔話を題材に。
- ◆特産品を物産展で販売。良いものをお届け！
- ◆キャラバン隊は木津川市民で！  
市内企業や、同志社大学の学生から幅広く募集
- ◆走りながら木津川市をPRできるラッピングバス！



着眼点

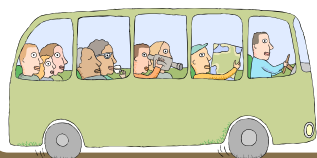
- ◆豊かな自然と最先端技術が共存する
- ◆日本の歴史に大きく名を残す出来事や史跡がある

しかし、全国的に見て木津川市の知名度は??



目的

1. 木津川市を全国アピール
2. 全国に木津川市のファンを作る



効果・影響

1. 木津川市が全国的に有名になる
2. 観光客を含め、市に人が訪れる
3. 市の経済が活性化する
4. 市民がまちの魅力を再発見



# 山城中学校チームの提言

私たちは「5年後の木津川市」  
について以下のように提言します。

## 木津川の良さを全国各地の人々に知ってもらうための企画「木津川キャラバン」を提言します。

木津川市の歴史や昔話をテーマに市民がつくるミュージカルの公演と豊かな自然が育んだ特産品の物産展がまちを飛び出し、各地を巡ることで全国に木津川市ファンをつくり、まちをいきいきさせることを目指します。

### アクションプラン

脚本家や演出家  
等組織関係者の  
増員



キャラバンの  
内容を見直し  
改善する

提  
言  
書  
提  
出

1年目

運営組織を  
設立

協賛団体  
募集開始

2年目

劇団の組成

キャラバン隊  
の人員募集

練習場所の確保  
開催場所の選定

3年目

プレ開催  
市内→京都府

グッズ制作  
販売

4年目

キャラバン開催  
地方のイベント  
と連携

5年目

開催継続

近畿から徐々に  
全国へ・・・

広報活動（ラッピングバス等）

開催場所の決定（府内→近畿→関東）

スポンサーの獲得



## 「きづな旅」

### ～外国の方に木津川市をいっぱい知ってもらおうツアーの開催～

#### 概 要

##### 1) 企画の着目点

木津川市の現状と、“5年後”というキーワードに着目しました。木津川市は自然・歴史・最先端科学技術が集まる魅力的な市です。一方で、そんな魅力あふれるまちにも関わらず、木津川市には外国人観光客があまり訪れていないのが現状です。次に“5年後”というキーワードです。今から5年後は2019年です。その翌年2020年には東京オリンピックが開催され、大阪・京都・奈良にも多くの外国の方が観光に訪れると思われま

す。以上のことから、私たちは「外国の方に木津川市をいっぱい知ってもらおうツアーの開催」を企画しました。

##### 2) ネーミングの趣旨

私たちはこの企画の実現によって“世界中の人に木津川市の魅力を知ってもらう”ことを目指します。また、ツアー名には“木津川市でたくさんの歴史や文化、人と出会い、絆を深めてほしい”という願いを込めています。

##### 3) 取組内容

世界中の人たちが魅力的だと感じてもらえるツアーとはどんなツアーなのでしょう。私たちはツアーをつくるにあたり、日本に住んでいる外国の方にインタビューを行いました。インタビューの結果、外国の方は日本のお寺や豊かな自然、日本の科学技術に魅力を感じていることが分かりました。

『きづな旅』の具体的なツアー内容のポイントは、例えば、山城町森林公園の山頂から木津川市の豊かな自然を一望し、川遊びやバーベキューを楽しむことや海住山寺や浄瑠璃寺巡りで歴史と文化に触れ、きつづ光科学館ふおとん、福寿園のCHA遊学パークでは日本の最先端科学技術を体験できることなどがあげられます。また、宿泊は木津川市民のお宅でホームステイをして、地元の人との絆を深めてもらいたいと考えています。

この企画を成功させるために、まず市民による「チームきづな旅」を立ち上げます。2年目にプレツアー実施、3年目にはプレツアーの実績をもとにツアー内容を修正し、海外からの観光客の多様なニーズに対応できるようツアーの種類を増やします。そして、4年目に本ツアーを開催し、5年目には年間を通じて多くの外国の方が木津川市に訪れるようになる目標を達成します。私たちは、木津川市が世界的に有名なまち、私たち市民が誇れるまちにするため、この「きづな旅」を提案します。

木津川市立木津中学校 チーム一同

和田萌佳 谷口由起 中山拓海 谷中風威 宮本りあな 石田彩奈  
妻形真央 川口 葵 中田こまち 岡田ひなた (順不同)

# 「きづのもり」

## ～木津川市を京阪奈の観光の拠点に～

### 概要

#### 1) 企画の着目点

私たちの着眼点として、木津川市は昔、都として恭仁宮が置かれるなど古い歴史と、自然が豊かな土地、浄瑠璃寺や海住山寺など文化遺跡や観光資源にも恵まれています。そのうえ、京阪奈各都市へのアクセスがよいため、近畿地方の観光拠点となる立地条件を備えています。私たちは、このような木津川市のメリットに着眼し、一年を通して観光客の方に楽しんでもらえる「きづのもり」を企画しました。

#### 2) ネーミングの趣旨

特に、加茂地区、山城地区に広がる緑豊かな自然や古民家群、茶問屋、舟屋、恭仁宮や浄瑠璃寺や海住山寺など多くの文化遺産を擁する木津川市のイメージを「きづのもり」という言葉、ネーミングでまとめました。

#### 3) 取組内容

「きづのもり」の取組の最初は、一年中観光客の方に楽しんでもらえるよう今ある祭り、イベントや施設をより充実させることです。その方法として、最初にインフォメーション機能から強化します。例えば、京都駅にある観光案内所のように訪れた当日すぐにでも参加できるイベント情報の提供や案内 MAP やパンフレット・チラシなども設置します。場所は、JR 線が複数乗り入れ、京阪奈へのアクセスがしやすい木津駅を考えています。各施設には案内所からコミュニティバスを出し、観光客は色んなイベント参加や気軽に観光名所巡りができます。また、山城地区の茶問屋ストリートや舟屋商店街のひなまつりでの浴衣貸出サービス、お茶摘み体験、壁紙・織物教室などを想定しています。

ただ、現在、木津川市内には宿泊施設がありません。そこで、5年後までに例えば、茶問屋ストリートにある古民家を改築し、最初の宿泊施設を作るという計画です。この宿泊施設のポイントは、素泊まりで料金が安い、古民家を活かした落ち着いた雰囲気、朝食は近くの店と協力して希望者に提供するなど、地域の人と共同で運営していく宿泊施設だということです。また、私たちは自分たちの企画を検証するために、校外活動として江戸時代から続く川船宿「川喜」と「茶問屋ストリート」の調査もおこないました。

加茂、山城、木津地区の豊かな自然や文化遺産などの観光資源を活かした「きづのもり」企画の実行は、きっと木津川市ににぎわいをもたらすものと思います。

木津川市立木津第二中学校 チーム一同

佐々木萌映	林珠美礼	中川恭輔	松尾日菜
山田鈴奈	近藤 花	東 彩生	川端はるか (順不同)

## 「人と人をつなぐ Bamboo Park」 ～新・旧市街地、世代間交流の場を提供する企画～

### 概要

#### 1) 企画の着目点

私たちは 2 つの点に着目しました。1 つは、近年、市外から城山台などの新しい地域に移り住んでくる人が多くなり、もともとの地域で暮らす市民と新しい地域で暮らしはじめた市民との関係が浅いことです。そして、もう一つは市内に手入れされていない放置竹林が増えていることです。このような現状を改善していきます。

#### 2) ネーミングの趣旨

放置竹林を開拓し、その中に公園を作ることで竹を中心とした自然豊かな公園にしようと考え Bamboo Park と命名しました。また、放置竹林開拓の過程で市民や中学生が協力して竹林の伐採イベントを行います。このイベントによって地域間交流、世代間交流を生むと同時に環境問題についても考えていきます。遊具はすべて竹製です。たくさんの竹を使用し、日本でも珍しい公園にします。

#### 3) 取組内容

私たちの考える Bamboo Park は、公園の完成を目指すだけではなく、市民が中心となり公園をつくり、運営する、その過程で交流を生みだそうという企画です。その土台として、1年目に企画を進めていく組織「バンブーネットワーク」を設立し、1年目終盤には一口会員制度を採用してバンブーネットワークの輪を広げるとともに、公園作りの資金を集めます。2年目は竹の伐採イベントなどを開始するために、市民が中心となるイベント実行組織を作ります。2年目の終盤から3年目にかけて四季折々のイベントをつくっていきますが、特徴的なイベントとして「Thank you」祭り企画があります。友人同士、親子や年配の方といった幅広い世代の人を対象に、普段は恥ずかしくて言えない感謝の気持ちを相手に伝えるイベントです。

公園は市民の憩いの場ですが、交流の場としても活用してもらえるよう公園内には地元の人が集まれる施設を設置し、自然と交流が生まれる工夫をします。

「人と人をつなげる Bamboo Park」は、さまざまな交流が盛んな活気あふれる木津川市をつくりまします。

木津川市立木津南中学校 チーム一同

松本みなよ 赤迫莉緒 中村風沙 益田恵美 三浦百華 井木彩郁 石上紗帆  
松本萌衣 香川あすか 山足麻実 谷口舞美 堀 愛香 小竹宙樹 (順不同)



## 「みんなでつくる木津川 MAP」 ～教えて!! あなたの木津川市～

### 概 要

#### 1) 企画の着目点

みなさんは、木津川市のことをどれくらい知っていますか? 「木津川市の良い所を教える」といわれた時、何を紹介しますか? また、いくつ挙げられるでしょうか? 私たちの今回の着眼点は、私たちが住む木津川市のことを実はあまり知らないのではないかと実感したことです。木津川市が誕生してすでに7年が経ちますが、自分の住む地区以外のエリアについてはまだよく知らない市民も多いのではないかと考えました。

#### 2) ネーミングの趣旨

お互いに知っていることを伝えあうことができれば、市民みんなが木津川市のことをたくさん知り、もっと大好きに、もっと大切に感じるようになるのではないのでしょうか。

そこで私たちが考えたのが、「教えて!! あなたの木津川市ーみんなで作る木津川 MAPー」です。市民がそれぞれに持つ知識や情報をもとに、木津川市のマップ作りを行います。木津川市のいろんな知りたいこと、知らせたいことが集まったものを、そのものずばり「木津川 MAP」とネーミングしました。

#### 3) 取組内容

「木津川 MAP」の作成は、ユーザー自身が知っている木津川市のおすすめ情報や他の人に知ってほしい情報をスマートフォンや葉書などで投稿していく方法をとります。木津川市中の人たちが投稿をすれば、住んでいるからでこそ分かる細かい情報、それぞれの人の持つ趣味や好きなもの、興味があることなどから引き出される情報など、多種多様な情報が集まってきます。「木津川 MAP」では、集まった情報をまとめ、Web アプリや紙地図として提供します。また、ジャンルやキーワード検索はもちろん、季節や天候、そして気分や心理テストの結果などに基づく情報などを提供していきたいと考えています。

例えば、木津川市で景色が良いところが全部わかる「木津川市百景マップ!」、昆虫採集や川遊びなど、少年の心で夏を満喫できるスポットを集めた「夏の少年マップ!」、若いママの相談相手にもなる「子育ておまかせマップ!」などです。

「木津川 MAP」は、多くの人に見てもらうために広報木津川などで宣伝していくとともに、木津川市内のさまざまなお店や企業・団体と協力して、メニューやクーポンを情報に追加したり、投稿のランキング機能をつけるなど、マップの内容を充実させ、5年目には投稿ユーザーを市の総人口と同じ72,936人(H.26年12月1日現在)を達成します。

木津川市立泉川中学校 チーム一同

笠石明日香	日下朱音	澤樹知優	野口絢賀	伊藤聡美
北 明日香	山本千晴	大西はな	早川千世	(順不同)

## 「木津川キャラバン」

### ～木津川市の良さを全国各地の人々に知ってもらうためのキャラバン企画～

#### 概要

##### 1) 企画の着目点

木津川市は自然が豊かであると同時に、最先端技術が集まる学研都市エリアもあり、歴史も古く、恭仁京や山城国一揆をはじめ、日本に大きな影響を与えた歴史上の出来事、文化財、史跡が数多くあります。しかし、木津川市自体が、全国的に高い知名度を誇っているわけではない、という現状に着目しました。

##### 2) ネーミングの趣旨

ご存知のとおり、「キャラバン=隊商」とは、ラクダや馬に荷物を積んで隊をなしてアフリカの砂漠やシルクロードなどを縦断していた商人たちのことで、世界の各地を巡って商品を流通させ、国や地域を結びつける役目を果たしました。

そこで、私たちは、木津川市をアピールし、多くの人々に市を知ってもらうために、木津川市の魅力をぎっしり詰め込んだ物産を積んで全国各地を巡っていく「木津川キャラバン」を提案します。

##### 3) 取組内容

木津川キャラバン隊は、全国各地で開催される物産展や祭り・イベント、学園祭等をめぐっていきます。いづみ姫やたけのこタッキーなどのキャラクターも活用し、ラッピングバスで全国各地を巡ります。キャラバンでお届けする物産展では、木津川市の豊かな自然がはぐくんだタケノコや柿、お茶などの特産品を販売します。

また、この企画では、PR 効果を高め、幅広い世代から興味を持ってもらえるようミュージカルを目玉としました。木津川市を印象付けるため、「蟹の恩返し」等の木津川市に伝わる昔話や恭仁京の天平文化など華やかな歴史にまつわるストーリーを盛り込んだ演目を予定しています。上演は、その場を活かしてフラッシュモブのように会場そのものをステージにした、小規模の演目なども用意します。

木津川キャラバンは、市民の手によって作り上げる企画です。ミュージカルの演出や脚本は一部専門家の手にもゆだねますが、出演者やスタッフは市民をはじめ、市内にある企業や大学の学生などから、広く公募します。キャラバン隊の運営には、資金や人的協力を得るため協賛団体・企業に支援をお願いし、幅広いネットワークを作ります。日本各地を巡る、木津川キャラバン！次はあなたのまちで会いましょう

木津川市立山城中学校 チーム一同

岡田真優 栗生紗希帆 藤澤来実 小笹優佳 新山一步 友成碧悠  
上岡歩未 古西慎之介 小嶋康志 前野茉祐 (順不同)

# 木津川市プロデュースプロジェクト メンバー一覧

## ●同志社ローム記念館プロジェクト

### 「プロデューサー養成プロジェクト@木津川市」

赤堀 匠

(同志社大学理工学部 1年)

荒井祥太

(同志社大学スポーツ健康科学部 1年)

今入康友

(同志社大学大学院理工学研究科 2年)

岩田直大

(同志社大学理工学部 2年)

小原裕司

(同志社大学理工学部 2年)

窪山愛里紗

(同志社女子大学学芸学部 4年)

後藤百合絵

(同志社大学心理学部 4年)

清水佑穂

(同志社女子大学学芸学部 2年)

下村郁佳

(同志社大学文化情報学部 1年)

杉山晃次郎

(同志社大学理工学部 1年)

高森和紀

(同志社大学文学部 4年)

万福尚紀

(同志社大学心理学部 4年)

望月結鶴

(同志社大学文化情報学部 3年)

横山 諒

(同志社大学理工学部 2年)

吉村あすみ

(同志社女子大学大学院文学研究科 2年)

プロジェクト責任者：二村太郎 (同志社大学グローバル地域文化学部助教)

プロジェクト推進者：田鍋耕三・糸川尚子

(特定非営利活動法人プロデュース・テクノロジー開発センター)

## ●各校担当教諭

木津中学校

森田佐織

宮川美香

木津第二中学校

藤本陽一

小池啓介

木津南中学校

坂下裕史

橋本陸斗

泉川中学校

花原大輔

近藤直美

山城中学校

吉田敦史

## ●ご協力いただいたみなさま (順不同)

木津川アートプロデューサー 佐藤啓子様

木津川市商工会 総務課長 井ノ倉真里子様

木津川市 市長公室学研企画課国際交流員 リー・ブライアン様

奈良教育大学特任教授 赤井 悟様

大阪教育大学教授 倉本 香様

株式会社ワオ・コーポレーション 教育総合研究所 平田 強様

木津川市商工会様・一般社団法人 木津川市観光協会様 (画像ご提供等)

サンフレッシュ加茂店様・川喜様・マルイ緑寿園本店様・NPO法人きづがわネット様

「たかっちゃんの紙芝居」塚田高司様

インタビューにお答えいただいた同志社大学留学生のみなさま

アンケート調査にご協力いただいた市民のみなさま

## ●協力団体

木津川市教育委員会

特定非営利活動法人 プロデューステクノロジー開発センター

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

